

かけはしがわ



発行 国土交通省金沢河川国道事務所

第4回

小松天満宮整備計画評価委員会

を開催しました！！

平成22年3月10日（水）に「第4回小松天満宮整備計画評価委員会」を金沢河川国道事務所小松出張所で開催しました。国指定重要文化財小松天満宮周辺での本格的な河川改修事業を実施するにあたり、輪中堤建設後の環境変化予測や、環境保全手法等に関して学識経験者の方に助言を頂くことを目的に委員会を設置し、平成18年度から現地調査を含め今回で4回目となりました。今回は、小松天満宮周辺との景観検討や地盤改良による環境影響などの事務局（案）に対してご意見（アンケート集計の妥当性、モニタリング調査の継続等）を頂きました。なお、議題について全て審議して頂いたことから、今回の委員会が最終となりました。



第4回整備計画評価委員会の様子

○委員会のスケジュール

第1回委員会

平成19年3月6日開催

- ・評価を行うためのデータ内容の確認
- ・環境影響評価項目の確認

第2回委員会

平成19年12月18日開催

- ・微気象シミュレーション再現性確認
- ・景観形成のあり方の確認



第3回委員会の様子



現地調査会の様子

現地調査会

平成19年9月7日開催

- ・地下水補足調査結果報告
- ・小松天満宮現地視察

第3回委員会

平成21年3月6日開催

- ・微気象シミュレーション再現性確認
- ・施設配置計画（案）

第4回委員会

平成22年3月10日開催

- ・景観検討
- ・地盤改良による環境影響
- ・施設配置計画（案）

第1回～第4回の委員会資料及び議事要旨についてはこちらからご覧になれます↓

http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/mb2_jigyo/river/temman/index.html

今回のお知らせ

- ◆ 第4回小松天満宮整備計画評価委員会を開催しました！！
- ◆ 河川水辺の国勢調査（魚類）を実施しました！！
- ◆ 梯川の工事
- ◆ 野鳥観察会
- ◆ 河川愛護モニターさんからのおたより
- ◆ 「平成22年度河川愛護モニター」の募集

河川水辺の国勢調査（魚類）を実施しました！！

金沢河川国道事務所では、梯川の自然環境を調査する「河川水辺の国勢調査」を行っています。毎年1つの生物項目（魚類・鳥類・植物等）を対象に約5年に1回のスケジュールで実施しています。平成21年度は魚類の調査を行い、梯川直轄河川管理区間で3箇所・前川1箇所・大杉谷川3箇所の合計7箇所において、夏と秋に調査したところ、**52種**が確認されました。前回調査（平成16年、17年）では、59種確認されています。

石川県内で確認されている**80種**（出典：石川の淡水魚類（石川県1996年））の魚類の内、その65%にあたる52種類が梯川水系で確認されています。このことから梯川が自然環境豊かな水辺であることがわかります。

梯川で確認された魚の一部は、小松出張所1階の水槽でご覧頂くことができます。



● 梯川水系にいる主な魚

生活型	種名
純淡水魚	ギンブナ、タモロコ、 スズモロコ類 、 シマドジョウ 、ニゴイ、ドジョウ、 ギギ 、オオクチバス、ドンコ、コイ、ナマス、 メダカ 、 ゲンゴロウブナ 、アブラハヤ、 ジュズカケハゼ 、スナヤツメ、 カワムツ 、 オイカワ 、 カマツカ 、 ヤマメ 、 ニッコウイワナ 、 カジカ 、 ヤリタナゴ 、 タイリクバラタナゴ 、 ブルーギル 、 ヒガイ類 、 ミナミアカヒレタビラ 、モツゴ 計28種
回遊魚	ウキゴリ、ウグイ、オオヨシノボリ、トウヨシノボリ、アユ、 カマキリ 、スミウキゴリ、ゴクラクハゼ、 カジカ中卵型 、 カワヤツメ 、ヌマチチブ、チチブ 計12種
汽水・海水魚	スズキ、 クルマサヨリ 、メナダ、マハゼ、クサフグ、 アシシロハゼ 、ボラ、ミミズハゼ、ヒラメ、ヒメハゼ、ヒガンフグ、 ウミタナゴ 計12種

赤文字：重要種（天然記念物、種の保存指定種、環境省RLや県RDB掲載種などの希少な生物）

青文字：外来種（もともとその場所にいなかったのに、人間活動によって他の場所から持ち込まれ住みついた生物）

—：前回調査で確認されなかった種

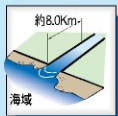


なぜ、魚が多いの？



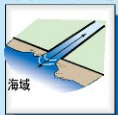
多様な生息環境（ハビタット）

● 長い汽水域



サッパ シマイサキ などの汽水・海水魚が生息できる

● 海域と川の移動が可能



サケ ウキゴリ などの回遊魚が生息できる

● 本川と支川の移動が可能



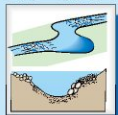
ナマス ドジョウ などの細流や水田で産卵する魚が生息できる

● 泥・砂・礫など様々な河床材料



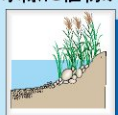
ヨシノボリ などの石の裏に卵を産みつける魚、アユ などの砂礫に卵をばらまく魚、マハゼ などの泥を掘りその中に卵を産む魚が生息できる

● 水深・流速の変化(静水域・流水域(瀬・淵))



カマキリ カジカ中卵型 などの流水域にすむ魚、タモロコ モツゴ などの静水域にすむ魚が生息できる

● 水際に植物が繁茂



コイ ギンブナ などの水際の植物に卵を産みつける魚が生息できる

※過去に確認された種も表示しています。

梯川の工事

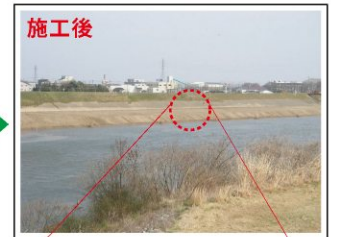
梯川において現在、行われている工事を紹介します。



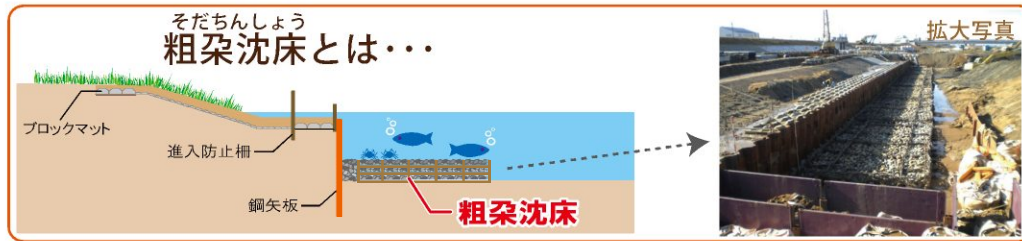
① 梯川島田低水護岸その1工事 完成

工期：平成21年9月12日～平成22年3月23日

小松市島田地先では、流水や雨、あるいは波の作用によって高水敷が侵食されないよう、河岸に鋼矢板や「粗朶沈床」等を設置する低水護岸工事を行っています。「粗朶沈床」とは、水の流れて川底が掘れるのを防ぐために設置する根固め工の一つです。従来のコンクリートによる根固め工に比べ、魚類やえび、かになどの生き物が棲みやすいため環境に優しい工法です。



拡大写真



野鳥観察会

2月21日に、市内の小学生と保護者を対象に、梯川手づくり学習館（前川排水機場）で野鳥観察会を開催しました。野鳥観察会は今回で4回目になり、当日は好天に恵まれ、昨年を上回る36名が参加しました。講師には、小松市立高校教諭の金山晃さんをお招きし、梯川にいる鳥について説明を聞いた後、屋外で双眼鏡を使ってカワウやマガモ等の鳥の様子を観察しました。また、鳥の観察だけではなく、前川排水機場の見学会も行いました。



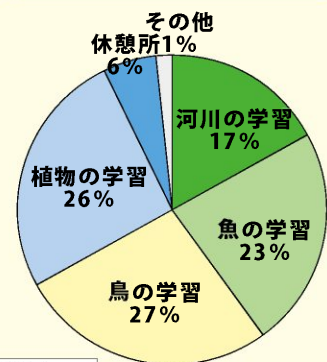
屋外での野鳥観察の様子



野鳥説明会の様子

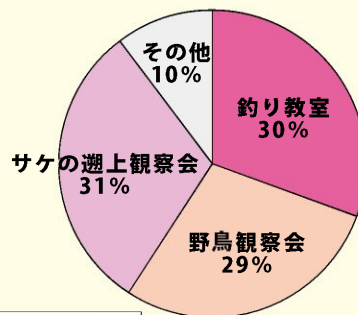
来場者アンケート結果

今後、学習館をどのように利用したいですか？



その他の意見
ウォーキング兼自然観察の場として

今後、どんなイベントがあればいいと思いますか？



その他の意見
河川工事現場の見学会
梯川周辺の散策など

梯川にいる鳥の種類について詳しく知りたい方は、金沢河川国道事務所のホームページからご覧になれます。



<http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/river/census>

参加者からは、色々な鳥を見ることができて楽しかった、という声が多く寄せられました。

梯川河川愛護モニターさんからのおたより

河川愛護モニターに加藤さんと石田さんに梯川について思ったこと、感じたことを報告していただきました。ここで、ほんの一部ですがご紹介します。

■ 12月の報告

発行されている梯川の資料にあるように、自然災害等の防止のために梯川の改修・整備は急務である。現況の梯川の特長として、上流部を先に整備しても洪水が流れにくく水位が下がらない関係上、下流部から河川の整備を実施している。いつも利用している国道8号線の小松新橋周辺では、この年末も急ピッチで工事が進められていたのが印象的であった。住民としては、早期に梯川の改修が実現するのが望ましいが、政権交代の中で年末に決まった予算案の行方が気になるところである。



平成21年度
梯川河川愛護モニター
かとう さだお
加藤 貞夫さん

■ 12月の報告

梯川下流の光陽町付近から島町付近の堤防を歩いてみました。光陽町や古府町付近は工事が始まっており、現流れをそのままにした堤防工事でした。

昔は、この付近の蛇行流れを改善し、余った土地でグラウンドを造成することが、地元市議員の選挙で公約のように叫ばれましたが、月日が経過しいつの間にか内容が変更されてしまいました。

私のように残念に思う地元住民が多いと思います。



平成21年度
梯川河川愛護モニター
いしだ よしひろ
石田 良弘さん

【コメント】

光陽町・古府町の堤防工事は、現堤防の維持機能強化を考えた、堤防の幅・高さを増やしている工事であり、下流で行われている堤防を作り替える「河川改修」とは違うものです。将来的には、光陽町・古府町でも河川改修が行われる予定です。

また、過去の改修計画では確かに蛇行部を直線化していましたが、平成9年に新河川法が施工され、それまでの治水と利水の2本柱に「環境」が加わり、川本来の姿も大事にしていくこととなりました。河川改修を行う際は事前に、県知事、学識経験者や住民の皆様にご意見を聞き、河川整備計画を策定します。梯川では、昨年11月頃にアンケート調査の実施や住民意見聴取会を開催し、計画を立案しております。

(広報かけはしがわ Vol.33 参照)

【コメント】

現在、梯川では樋管の改築や耐震工事等を含め10件以上の工事が実施されており、改修工事が最盛期を迎えています。今回の政権交代の中で決まった予算案に限らず、最近の厳しい公共工事の予算案の中で、梯川に対する改修の必要性がどれだけ重要かということが、見て取れるかと思えます。今後とも住民の方々のご理解とご協力を宜しくお願い致します。

お二人とも、貴重なご意見をありがとうございます。
今後の河川事業の参考にさせていただきます。

「平成22年度河川愛護モニター」を募集しています。

国土交通省金沢河川国道事務所では、地域住民の皆様への河川への関心が高まっていることから、積極的な協力を求めて、河川愛護モニターを募集しています。

1. **活動内容：** (1) 担当の河川に対する意見。モニターご自身の河川愛護に関する活動報告（毎月）
(2) 金沢河川国道事務所の河川事業やイベントなどに対する感想・意見（随時）
(3) 地元の情報提供
(4) 河川愛護モニター会議への出席
2. **募集人員：** 手取川、梯川それぞれ2名ずつ
3. **応募資格：** 手取川または梯川の付近にお住まいで満20才以上の心身共に健康な、河川愛護に関心をお持ちの方
4. **任 期：** 平成22年7月1日より平成23年6月30日まで
5. **応募締切：** 平成22年5月31日
6. **そ の 他：** 河川愛護モニターの方には、金沢河川国道事務所より、薄謝を進呈いたします。
7. **お申し込み・お問い合わせ先：** 金沢河川国道事務所 河川管理課 TEL:076-264-9916 FAX:076-233-9612

お問い合わせ先

国土交通省金沢河川国道事務所調査第一課 TEL076-264-8800(代表)
小松出張所 TEL0761-23-4000

ホームページ <http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/>

広報「かけはしがわ」は、ホームページでもご覧になれます。



国土交通省 北陸地方整備局

金沢 河川 国道 事務所